

議会報告会 後川会場報告書 (1) 議会報告について

担当班： 第2班 班代表者：上田 英樹

概 要			
地区名 : 後川地区 日時 : 令和5年11月11日(土) 19:30~ 場所 : 後川文化センター 参加人数 : 10人(男10人・女0人)	【出席議員】 上田、森本、 園田、原田、 齋藤、堀毛	(1) 開会あいさつ : 上田英樹 (2) 議会報告 : 原田豊彦 (3) 質疑応答 : 各自 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ : 原田豊彦	挨拶・総括 : 上田英樹 司会進行 : 森本富夫 報告 : 原田豊彦 記録 : 齋藤泰博 堀毛宏章 会場(マイク) : 園田依子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
① 過日、市の職員が集落内の桜の状況を聞きに来た。てんぐ巣病にかかっている桜については地元では対応が困難だが、補正予算の269万円はどのような目的に使用するのか。	① てんぐ巣病にかかった桜の伐採に充当する予定ですが、市内には約1万本の桜の木があり、どの地区を対象にするのかについてはこれから検討します。古市地区で110本を処理した際に100万円は必要でした。桜は巨木も多くクレーン車での作業になるので、地域にお願いするのは危険が伴うので、今後も前向きに対応していきたいと思っています。 産業建設常任委員会でも伐採した現場を視察しましたが、巨木も多く作業は大変と感じました。現在、市では桜の植え替えなども含め将来ビジョンを策定しようとしています。
② (市内の桜の木が1万本というのは、各自治会長に確認された結果なのか。	② その通りです。

③ 後川の現状をお話すると、10月31日現在、人口372人で、内高齢者（65歳以上）が176人、高齢化率は50%近くになっている。
当然、丹波篠山市の平均を上回り、0歳～19歳は40人しかいない。
担い手については、理想論を言っても何も解決できない。

③ 第2部では、担い手不足対応をテーマに意見をいただきますが、地域の実情を踏まえたいえでの議論になるようにしたいと考えています。

議会報告会 会場報告書 2部 担い手不足

後川地区 1班

A こんな地域になったら良いな

【参加者意見・ソフト】

- ・農地・里山等の環境保全
- ・遊休地の土地利用
- ・温泉等の資源を生かした地域
- ・若者が住みやすい地域
- ・U・Iターンしやすい地域
- ・仲良く楽しく生活できる地域
- ・助け合いのできる地域
- ・高齢になっても安心して住める地域

【参加者意見・ハード】

- ・大学や企業の誘致、羽東川の整備

B Aの達成に足りない地域の担い手

【参加者意見・ソフト】

- ・若い人が増えることが必要
- ・地域を活性化に向けて動く人物
- ・コミュニティ不足を感じる
- ・外部移住者を受け入れる気持ちに不足を感じる

【参加者意見・ハード】

- ・特になし

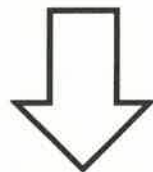
C Bを増やすためのアイデア・提案

【参加者意見・ソフト】

- ・空き家の活用と循環
- ・U・Iターンの促進
- ・地域リーダーの育成
- ・医療機関へのアクセスの充実

【参加者意見・ハード】

- ・新城東トンネルの早期着工



理想の地域の将来像は

B不足している担い手は

「地元だけでなく外部の人材」 で

C担い手不足を解決するためには

「人口増加とともに、地域の良さを地域の人も発信すること」 で

A将来的にこの地域は

「よい環境を未来に引き継ぐことができる」

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・ソフトの充実を望み、農地・里山の保全活用、地域コミュニティの充実、地域リーダーの育成等の意見とともに、ハードについては、新城東トンネルの早期着工とアクセスの充実を望む意見が出た。

議会報告会 会場報告書 2部 担い手不足

後川地区 2班

A こんな地域になったら良いな

【参加者意見・ソフト】

- ・鹿、猪等の被害を受けない地域
- ・現在より人口が減らない地域
- ・若者や子どもが定住できる地域
- ・若者や子どもの増加
- ・職場や仕事内容を選択できる地域
- ・高齢になっても安心して住める地域
- ・田舎の付き合いが残る地域
- ・交通環境に恵まれた地域

【参加者意見・ハード】

- ・医療機関へのアクセスの充実・城東トンネルの早期着工

B Aの達成に足りない地域の担い手

【参加者意見・ソフト】

- ・神社の祭りに対する若者の関心不足
- ・田舎の伝統行事をつなげていく人

【参加者意見・ハード】

- ・特になし

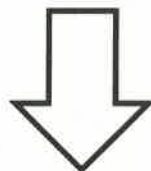
C Bを増やすためのアイデア・提案

【参加者意見・ソフト】

- ・特になし

【参加者意見・ハード】

- ・特になし



理想の地域の将来像は

B不足している担い手は

「若者」で

C担い手不足を解決するためには

「関係人口の受入れや役の軽減、改革を受け入れる柔軟な考えをする」で

A将来的にこの地域は

「高齢者と若者の交流が進み、楽しい地域となる」

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・ソフトの充実を望み、獣害対策、若者や子供の増加、高齢になっても安心して住める、田舎の付き合いの継続等の意見とともに、ハードについては、新城東トンネルの早期着工とアクセスの充実を望む意見が出た。